

Rotary

イマジン  
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝郎 幹 事 塚越 淳史 会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2989号 2023年2月21日(晴れ) 第31回例会 会員数110名

## ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝郎 会長  
司 会 副SAA 中山会員

## ◇ロータリーソング「我等の生業」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ ハンバーグピカタ サラダ  
野菜のスープ ライス デザート コーヒー

## ビジター紹介

細谷副会長

## ◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,611名  
宇都宮南RC 仲田俊夫様  
(第3グループB ガバナー補佐)

## ◇宇都宮東警察署

署長・栃木県警視 早藤 晴樹 様(卓話講師)  
随行 警務課 小林 拓馬 様

## 会長挨拶

加藤 勝郎 会長

皆さん、こんにちは。ロータリーでの奉仕活動は、単なる寄付行為や清掃活動や慰問活動ではありません。一人一人が、世のため人のためそして自分のためになる奉仕の理念を考え、実践することです。そうすることによって、人を育てることができ、自分自身も成長していくことができます。奉仕活動が職業となることはないでしょうが、職業が奉仕活動であることは、警察の仕事が一番のお手本となります。犯罪がグローバル化し巧妙になっている現在では、警察への期待と感謝の気持ちが今までになく高まっています。ロータリーの五大奉仕の一つ、職業奉仕を考える上でも、本日の卓話は大いに参考になると思います。早藤署長、よろしくお祈りします。

◇御礼のご挨拶 仲田俊夫ガバナー補佐

※インターシティミーティング参加へのお礼



## 幹事報告

塚越 淳史 幹事

◇後期会費のご入金がまだの方は、早急をお願いいたします。

◇ガバナー事務所より「ロータリー希望の風奨学金」支援の「東日本大震災チャリティーコンサート」のご案内届く。開催日3月10日(金)。申込締切り2月28日(火)まで。興味のある方は幹事が事務局までご連絡下さい。



## 委員会報告

◇スマイルボックス委員会 炭田委員長  
仲田俊夫ガバナー補佐

2月9日のインターシティミーティングに多くの会員にご出席いただきありがとうございました！

◇姉妹クラブ委員会 中山委員長  
鳳山西區扶輪社訪問について報告

2月11日～13日の3日間、加藤会長はじめ塚越幹事、他15名で姉妹クラブの高雄の鳳山西區扶輪社に訪問して参りました。11日の夜に例会を開いていただき、盛大に歓迎していただき、二次会でも歓待していただきました。翌日は7時半にホテルを出まして、同じ高雄市内ですが、1時間半かけて移動し、六龜衛生所にグローバル補助金で設置した超音波画像診断装置(エコー)の視察を行ないました。その後バスで移動し、高雄市内で昼食の後、鳳山西區扶輪社の方々と別れ、台北に1泊し翌日帰りました。課題として3つ、言葉の問題、日程の問題、飛行機の問題がありました。

※詳細は3月14日に姉妹クラブで報告

### 「3分間スピーチ」



伴 誠会員

皆さん、こんにちは。私は昭和43年生まれの今年55歳で、ロータリー歴は7年目です。家族は妻と二人の子供がいます。今日は子育てと会社経営には共通点があるように感じていることについて話をしたいと思います。

子育てというのは、親が子供を育てていると思っ込んでいますが、子育てをしていると、実は子供から学ぶことも多く、親として成長させてもらっていることに気付かされます。会社経営では、私は社員を指導し、育てていくことが仕事です。そういうときもやはり、実は社員から多くのことを学び自分自身が成長させてもらっていると感じています。

そんな社員のなかで育て方を失敗してしまったエピソードがあります。その社員はあるスキルの高い新規事業のプロジェクトをたった一人で任されていました。しかし、数か月すると私に会社を辞めたいと言い出してきました。理由を聞くと、「たった一人で仕事をしていても相談する相手もいなく、仕事がうまく進んでいるのか駄目なのか、そのことに対して褒めても叱ってもらえず、何の判断も評価もしてもらえないので、自分の居場所がなくなったような気がする」と言って会社を辞めていきました。その社員にそう言われて初めて自分の無関心さに気づかされました。

この事を自分の子共に置き換えたとき、学校や友人関係のことで悩んでいたら、子供を一人きりにして、何も言わず、はたから見ているようなことは決してしないはずで、いくら自分のスキル

では理解できない事業分野であっても、その社員に寄り添って、話を聞いてあげること位は出来なかったのかと反省しています。子供や社員を褒めるのも、叱るのも、評価するのも、話を聞いてあげると、その子が成長するためにはとても大切なことで、これを怠ると人は、うまく成長していくことは難しいのかもしれない。

このように、子育てにおける親子関係と、会社における社員との関係はとても似ているところがあり、常に対等の関係で寄り添い、しっかりとコミュニケーションをとり信頼関係を築きながら、お互いに成長していくことが大切だと考えています。

最後にロータリー活動においても、多くの会員の皆様に育てていただき、信頼関係を築き、いずれは何らかのかたちで恩返しできればと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

※次回3分間スピーチは駒場洋助会員



### 卓 話

#### 「暴力団対策について」



宇都宮東警察署長・栃木県警視 早藤 晴樹 様

- ・暴力団情勢
- ・暴力団対策法・栃木県暴力団排除条例
- ・企業の暴力団対策
- ・暴力団に対する警察の姿勢

について大変貴重なお話をお聞かせいただきました。